

「幼児の発達」

寝屋川市立第十中学校

指導者 教諭 藤川 明美

1. 日 時 平成 20 年 6 月 10 日（火）

2. 場 所 被服室

3. 学年 第 2 学年

4. 題材名

B 家族と家庭生活

(2) 幼児の発達と家族

(5) 幼児の生活と幼児との触れ合い

5. 題材目標

- ・ 幼児の心身の発達の特徴を知り、子どもが育つ環境としての家族の役割について考えること。
- ・ 幼児の生活に関心を持ち、課題をもって幼児の生活に役立つものをつくることのできる。

6. 生徒観

核家族化、少子化で、今の中学生が幼児と接する機会は少ない。そのためか、「保育分野」の授業に対する関心は低い。家庭分野の事前アンケートで、「幼児は好きか」と質問したところ、「すぐ泣くし、面倒くさい」「どんな風に遊んだらいいかわからない」「元気がすぎて疲れる」と答える生徒が多く、「好き」と答えた生徒は少数だった。幼児に対して、「かわいい」「遊んであげたい」という気持ちがあっても、交流体験が少なく、幼児とどのように接したらよいかかわからないことが苦手意識につながっている。

7. 教材観

中学 2 年生という時期は、肉体的にも、精神的にも成長が著しい不安定な時期であり、子どもから大人へ成長していく時期である。この時期に、命の大切さを学ぶ保育を学習することは、大きな意味がある。

本題材では、自分の成長の過程を振り返ることで、幼児の発達の特徴や基本的な生活習慣の形成の重要性を理解させ、幼児の発達に直接的にかかわり、成長を見守り、慈しみ、育ててくれた親や周囲の人々の愛情に感謝する心を育むとともに、幼児と温かく接しようとする態度を育てることがねらいである。

8. 指導観

この題材では、なぜ、中学生が保育の学習をするのかという意味を理解させ、興味関心をもたせることが大切である。そこで導入として、生徒の各家庭の事情に配慮しながら、幼児期のエピソードや、生まれたときの親の気持ちをインタビューすることで、自分自身の成長の過程を知り、多くの人々の働きかけで自分が成長してきたことを理解させたい。心身の発達については、視聴覚教材を用いることで、中学生が想像しやすいようにし、発達段階に即した接し方があることを理解し、自信をもって幼児と交流する積極性を身につけさせたい。また、幼児期は、食事・排泄・睡眠・清潔・着脱衣など基本的な生活習慣形成の重要な時期であることをロールプレイング等で理解させ、それらができるようになった経緯を考える中で、親や周囲の人の温かい支援が、幼児の成長や発達には必要不可欠であることに気付かせ、地域のお兄さん、お姉さんとして、幼児とかかわることの意味を見出させたい。さらには、幼児のために、食べやすく、栄養を考えたおやつを工夫し、調理することができる力を育て、次の保育実習につなげたい。

9. 題材の評価規準

関心・意欲・態度	工夫・創造	生活の技能	知識・理解
・ 幼児の発達を支える家族の役割について考えようとしている。	・ 幼児の生活に役立つものについて課題をもち、自分なりの工夫をしている。	・ 間食の調理など、幼児の生活に役立つものを、計画を立ててつくることのできる。	・ 幼児の心身の発達の概要を理解している。 ・ 幼児の発達を支える

・ 幼児の生活について関心をもち、課題を見つけようとしている。			家族の役割について理解している。 ・ 基本的な生活習慣の形成の重要性について、理解している。
---------------------------------	--	--	---

10. 題材の指導と評価の計画（全8時間）

時	生徒が学習する内容	主な評価規準
第1時	自分の幼い頃を思い出そう	・ 幼児の生活について関心をもち、課題をみつけようとしている。 【関心・意欲・態度】
第2時 (本時)	どのように成長してきたのだろう (1) 身体と運動機能の発達	・ 幼児の身体と運動の機能の発達の概要を理解している。 【知識・理解】
第3時	(2) 社会性の発達	・ 幼児の情緒・社会性の発達の概要を理解している。 【知識・理解】
第4時	基本的な生活習慣	・ 基本的な生活習慣の重要性について、理解している。 【知識・理解】
第5時	幼児の発達を支える家族の役割	・ 幼児の発達を支える家族の役割について考えようとしている。 【関心・意欲・態度】
第6時	幼児期の栄養	・ 間食の調理など、幼児の生活に役立つものを考え、工夫することができる。 【工夫・創造】
第7時 第8時	幼児が喜ぶおやつを作ろう	・ 間食の調理など、幼児の生活に役立つものをつくることことができる。 【生活の技能】

11. 本時の展開

(1) 本時の目標

- ・ 身体の発達の順序を理解すること。
- ・ 運動機能の発達の特徴を理解すること。

(2) 本時の評価規準

- ・ 身体の発達の順序を考えようとしている。【関心・意欲・態度】
- ・ 幼児の身体と運動機能の発達を理解している。【知識・理解】

(3) 本時の学習過程

時間	生徒が学習する内容、 生徒の学習活動	指導上の留意点 (で表す) 理解の不十分な生徒への てだて (で表す)	評価規準、評価方法)
5分 課題 把握	本時の目標を知る。	本時の目標を伝える。 前の時間に、自分の幼い頃を思い出し、どのように成長してきたか考えたことを確認する。 身体・運動機能の発達について学習することを知らせる。	

20分 自力解決	パワーポイントの映像を見て、各段階の子どもの発達の特徴を考え、プリントに記入する。	<p>パワーポイントを使って、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1ヶ月（首が据わってない様子） ・2ヶ月（首が安定してきた様子） ・5～6ヶ月（寝返りを打つ様子） ・7～8ヶ月（はいはいの様子） ・1歳（指先を使う様子） <p>を動画で見せる。必要に応じてスライドを前後させる。プリントに気付いたことを記入させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1歳までの赤ちゃんと接するときの注意点も知らせる。 <p>まとめを板書する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身体の発達の順序を考えようとしている。 <p>（関心・意欲・態度） （行動の観察）</p>
10分 集団解決	<p>班で発達の順序を考える。 ○画用紙に記入する。</p> <p>意見を発表する。</p> <p>発達の方向性を知る。</p>	<p>先ほどの映像をヒントに、発達の順序と方向性を考えさせる。</p> <p>中心 外側、頭部 先端部に向かって発達していることを知らせる。</p> <p>個人差があることも理解させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身体の発達の順序を理解する。（知識・理解） <p>（ワークシートの記述）</p>
10分 練り上げ	<p>運動機能の発達の道筋を予測する。</p> <p>自分が考えた順番を発表する。</p> <p>運動機能の発達の道筋を知る。</p>	<p>発達の方向性を踏まえて、運動機能の発達の順序を考えさせる。</p> <p>例 立つ、歩く、走る、ブランコ、階段をのぼる</p> <p>想像しにくい生徒には、発達の道筋のヒントを出していく。</p> <p>ヒント1 たどたどしい動き～なめらかな動きへ。</p> <p>ヒント2 不安定な中でバランスをとるものほど難易度が高い。（平均台より綱渡り）</p> <p>およその年齢も知らせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運動機能の発達の特徴を理解する。（知識・理解） <p>（ワークシートの記述）</p>
5分 まとめ	<p>学習を振り返り、整理する。 プリントを提出する。</p> <p>次回の内容を知る</p>	<p>学習を振り返る。 プリントを集める。</p> <p>次回は心の発達について学習することを知らせる。</p>	

どのように成長してきたのだろう～身体・運動機能の発達～

はじめよう

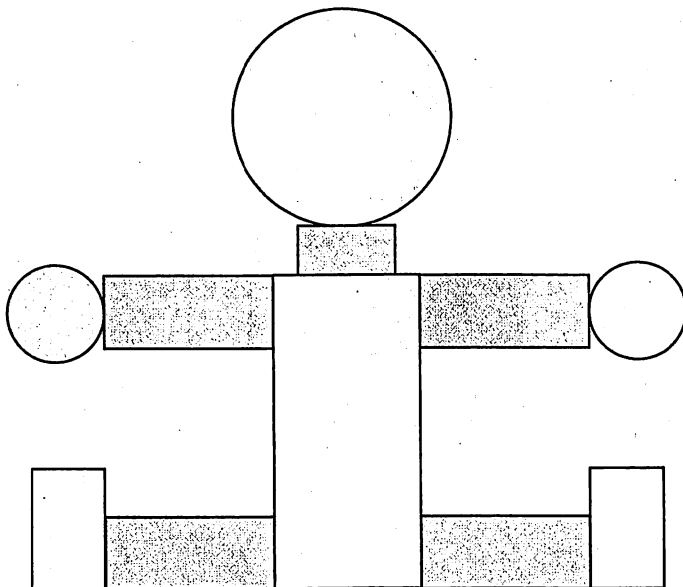
赤ちゃんの様子を観察し、体がどんな動きをしているか、たくさん書いてみよう。

年齢	赤ちゃんの動き	特徴(黒板を写そう)
1か月		
2か月		
5. 6か月		
7. 8か月		
1歳		

考えよう

上の赤ちゃんの様子から、発達にはどのようなきまりがあるか考えよう。

順序(数字)か、矢印を書きこんでみよう。



わかったこと

- 発達には (①) がある。
- 身体は、(②) に近い部分から (③) へ発達する。
- また、(④) から (⑤) へ発達する。
- 身体の動きは (⑥) ものから (⑦) になっていく。

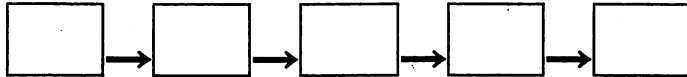
やってみよう

考えてみよう

体の発達の道筋を思い出して、次の運動ができるようになる順番を考えよう。

- ① ブランコに乗る ② 立つ ③ 歩く ④ 走る ⑤ 階段をのぼる

自分の考え



正解

自己評価・感想

1. 身体の発達の特徴がわかりましたか。 A B C D
2. 運動機能の発達の特徴がわかりましたか。 A B C D
3. 感想 (自分の幼い頃のエピソードでもよい)

どのように成長してきたのだろう

(1) 身体と運動機能の発達

寝屋川市立第十中学校 藤川 明美

特徴を考えよう

- 生まれて、1ヶ月



寝屋川市立第十中学校 藤川 明美

特徴を考えよう

- 生まれて、1ヶ月



寝屋川市立第十中学校 藤川 明美

特徴を考えよう

- 生まれて、2ヶ月



寝屋川市立第十中学校 藤川 明美

特徴を考えよう

- 生まれて、2ヶ月



寝屋川市立第十中学校 藤川 明美

特徴を考えよう

- 生まれて、5～6ヶ月



寝屋川市立第十中学校 藤川 明美

特徴を考えよう

- 生まれて、5～6ヶ月



寝屋川市立第十中学校 藤川 明美

特徴を考えよう

- 生まれて、7～8ヶ月



寝屋川市立第十中学校 藤川 明美

特徴を考えよう

- 1歳



寝屋川市立第十中学校 藤川 明美

特徴を考えよう

- 1歳



寝屋川市立第十中学校 藤川 明美

特徴を考えよう

- 生まれて、1ヶ月



寝屋川市立第十中学校 藤川 明美

特徴を考えよう

- 生まれて、2ヶ月



寝屋川市立第十中学校 藤川 明美

特徴を考えよう

- 生まれて、5～6ヶ月



寝屋川市立第十中学校 藤川 明美

特徴を考えよう

- 生まれて、7～8ヶ月



寝屋川市立第十中学校 藤川 明美

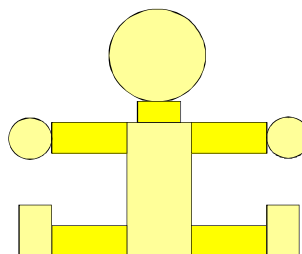
特徴を考えよう

- 1歳



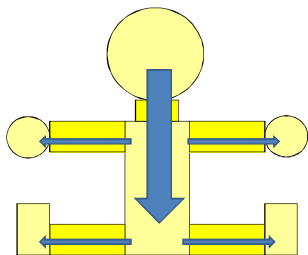
寝屋川市立第十中学校 藤川 明美

発達の特徴を考えよう



寝屋川市立第十中学校 藤川 明美

発達の特徴を考えよう



寝屋川市立第十中学校 藤川 明美

発達の特徴を考えよう

発達には(**順序**)がある。

寝屋川市立第十中学校 藤川 明美

発達の特徴を考えよう

体は、(**頭部**)に近い部分から(**先端**)へ発達する。

寝屋川市立第十中学校 藤川 明美

発達の特徴を考えよう

また、(**中心**)から(**外側**)へ発達する。

寝屋川市立第十中学校 藤川 明美

発達の特徴を考えよう

体の動きは(**たどたどしい**)ものから(**なめらか**)になっていく。

寝屋川市立第十中学校 藤川 明美

やってみよう

(立つ) (歩く) (走る) (階段をのぼる) (ブランコに乗る)

寝屋川市立第十中学校 藤川 明美

保育士さんをとられたくない

- 1歳 嫉妬 心の発達



寝屋川市立第十中学校 藤川 明美